

令和3年度 点字図書館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	<p>【設置目的】 視聴覚障害者情報提供施設として、無料で点字及び録音等による情報の提供、相談指導、ボランティアの育成等を実施することにより、視覚障害者等への情報提供を行い、視覚障害者等の社会参加等福祉の増進を図る。</p> <p>【施設内容】 事務室、書庫(点字図書、録音図書)、録音室、録音図書編集室、ダビングルーム、点字印刷・コンピュータ(OA)室、資料調査室、リーディングルーム、利用者コーナー、ミーティングルーム、ボランティアルーム</p>
(2)指定管理者	社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額:59,542,000円 決算額:59,144,190円

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		3年度の状況
①施設の維持管理業務	総合福祉センター内専用部分の管理及び機器等の修繕	
②施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ①蔵書(点字図書・雑誌及び録音図書・雑誌)の維持管理、貸出(郵送対応を含む) ②点字図書及び録音図書及びテキストデージー図書の製作 ③他の点字図書館等との点字図書・録音図書の相互貸借 ④全国視覚障害者情報提供施設協会ネットワークへの蔵書のデータ登録 ⑤機器の館内利用及び使用方法の指導 ⑥利用者登録 ⑦点字版、テープ版及びデージー版の「広報紙KOBE」の作成・送付 ⑧点字図書館だよりの発行 ⑨読み書き及び対面朗読サービスの実施 ⑩プライベートサービス ⑪点訳・音訳ボランティアの養成 ⑫中途失明者への点字読み書き訓練の指導 	
③その他の業務	—	
(2)利用状況		3年度の状況
①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者数 :19,294人 (R2年度:20,238人) ◆利用登録者数: 950人 (R2年度:949人) ◆自館蔵書等の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・点字図書:249タイトル、887巻(R2年度:306タイトル、1,136巻) ・テープ図書:82タイトル、557巻(R2年度:234タイトル、1,350巻) ・デージー図書:2,881タイトル・巻(R2年度:2,624タイトル・巻) ・点字雑誌:12タイトル、505冊(R2年度:12タイトル、505冊) ・録音雑誌:39タイトル、3,259巻(R2年度:45タイトル、3,077巻) 	
②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆他の図書館との相互貸借 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出点字:327タイトル(R2年度:273タイトル) ・貸出録音:2,306タイトル(R2年度:2,348タイトル) ・借受点字:203タイトル(R2年度:364タイトル) ・借受録音:9,033タイトル(R2年度:10,047タイトル) ◆読み書きサービス:57件(R2年度:62件) ◆対面朗読サービス:20件(R2年度:31件) ◆中途失明者の点字講習:29回(R2年度:22回) ◆プライベートサービス <ul style="list-style-type: none"> ・点訳:8件(R2年度:6件)、音訳:3件(R2年度:3件) 	

(3)収支状況		3年度の状況	
	①使用料または利用料金収入	—	
	②指定管理者の収支状況	収入額 60,040,149円 支出額 59,642,339円 差額 397,810円	(R2年度: 59,557,155円) (R2年度: 59,557,155円) (R2年度: 0円)
(4)その他		3年度の状況	
	①蔵書の製作	点字図書 133タイトル 409巻 (R2 146タイトル 405巻) 録音図書(デジター) 62タイトル 62巻 (R2 47タイトル 47巻) テキストデジター図書 11タイトル 11巻 (R2 14タイトル 14巻)	
	②広報紙KOBE及び市会だよりの編集発行	広報紙KOBE(点字及びデジター版)年16回 市会だより(デジター版)年4回	
	③点字図書館だよりの発行	年6回 墨字版 282部、点字版 191部、デジター版 147部	
	④ボランティアの養成・研修	テキストデジター製作ボランティア養成講座(前期) 11回 受講者 12人	
	⑤デジター再生機貸出し事業	貸出し実績 12台	
	⑥福祉機器相談・講習	200人	
	⑦点字カレンダーの製作	47部	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

		提案内容(目標値など)	達成状況
	①利用者数または利用率	—	—
	②収入目標額	—	—
	③その他新たなサービス	—	—

4. 利用者の満足度調査等

		3年度の状況
	①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法: 点字図書館利用登録者に対し、アンケート用紙(返信用封筒を同封)を郵送して実施(※電話・Eメールによる回答も受付) ◆調査機関: 令和3年11月 ◆郵送者数: 900人 ◆質問項目: 製作図書を含むサービス内容等について ◆回答者数: 197人(回答率22.1%)
	②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ◆「製作図書(点字)」について かなり満足26%、満足48%、普通26%、やや不満0%、不満0% ◆「製作図書(音訳)」について かなり満足21.7%、満足54.5%、普通23.1%、やや不満0.7%、不満0% ◆「製作図書(テキストデジター)」について かなり満足18.2%、満足54.5%、普通16.4%、やや不満7.3%、不満3.6% ◆「図書館のサービス」について 満足56.9%、やや満足16.1%、普通23.4%、やや不満2.9%、不満0.7%
	③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ①交流会や福祉機器展をまた実施してほしい。 ⇒令和3年度はコロナウイルス感染症対策のため中止となったが、令和4年度は実施予定 ②神戸市内の区役所・公民館・地域福祉センター等で、デジター再生機等の紹介や機器講習を実施してほしい。 ⇒令和4年2月に西区文化センターにおいて出前機器講習を開催。令和4年度は更に活動範囲を広げ開催できるよう調整中。 ③新型コロナワクチンの情報を点字やデジターで届けていただき、助かった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
<p style="text-align: center;">所 見</p>	<p>新型コロナウイルスの影響を受け、サービス利用者数が減少しているものの、概ね適正に管理運営業務が行われている。 新型コロナワクチン接種にかかる広報紙KOBE特別号(点字版・デージー版)の発行にあたり、限られた時間の中で迅速な対応を行ったことは評価できる。 また、点字図書館への来庁が困難な方を対象とした出前機器講習を実施するなど、新たなサービスにも取り組んでいる。今後、さらに幅広いニーズに対応する取り組みを行い、更なるサービスの向上に努められたい。</p>

令和4年度 神戸市立点字図書館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	1 設置目的 視聴覚障害者情報提供施設として、無料で点字及び録音等による情報の提供、相談指導、ボランティアの育成等を実施することにより、視覚障害者等への情報提供を行い、視覚障害者等の社会参加等福祉の増進を図る。 2 施設内容 事務室、書庫(点字図書、録音図書)、録音室、録音図書編集室、ダビングルーム、点字印刷・コンピュータ(OA)室、資料調査室、リーディングルーム、利用者コーナー、ミーティングルーム、ボランティアルーム
(2)指定管理者	社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R4市支出額(単位:円)	協定締結額 59,542,000円 決算額 59,479,635円

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		4年度の状況
①施設の維持管理業務		総合福祉センター内専用部分の管理及び機器等の修繕
②施設の運営業務		①蔵書(点字図書・雑誌及び録音図書・雑誌)の維持管理、貸出(郵送対応を含む) ②点字図書及び録音図書及びテキストデージー図書の製作 ③他の点字図書館等との点字図書・録音図書の相互貸借 ④全国視覚障害者情報提供施設協会ネットワークへの蔵書のデータ登録 ⑤機器の館内利用及び使用方法の指導 ⑥利用者登録 ⑦点字版、テープ版及びデージー版の「広報紙KOBE」の作成・送付 ⑧点字図書館だよりの発行 ⑨読み書き及び対面朗読サービスの実施 ⑩プライベートサービス ⑪点訳・音訳ボランティアの養成 ⑫中途失明者への点字読み書き訓練の指導
③その他の業務		—
(2)利用状況		4年度の状況
①施設利用状況		1 利用者数 17,808人 (R3 19,294人) 2 利用登録者数 923人 (R3 950人) 3 自館蔵書等の貸出 点字図書 307タイトル 1,127巻 (R3 249タイトル 887巻) テープ図書 206タイトル 1,174巻 (R3 82タイトル 557巻) デージー図書 2,116タイトル 2,116巻 (R3 2,881タイトル 2,881巻) 点字雑誌 14タイトル 507冊 (R3 12タイトル 505冊) 録音雑誌 41タイトル 3,644巻 (R3 39タイトル 3,259巻)
②その他利用状況		1 他の図書館との相互貸借 貸出 点字 209タイトル (R3 327タイトル) 録音 2,240タイトル (R3 2,306タイトル) 借受 点字 105タイトル (R3 203タイトル) 録音 7,840タイトル (R3 9,033タイトル) 2 読み書き及び対面朗読サービス 読み書きサービス 89件 (R3 57件) 対面朗読サービス 41件 (R3 20件) 3 中途失明者の点字講習 41回 (R3 29回) 4 プライベートサービス 点訳 5件 (R3 8件) 音訳 4件 (R3 3件)

(3)収支状況		4年度の状況
	①使用料または利用料金収入	-
	②指定管理者の収支状況	4年度決算額 収入59,901,239円 支出59,838,874円 3年度決算額 収入60,040,149円 支出59,642,239円
(4)その他		4年度の状況
	①蔵書の製作	点字図書 93タイトル 329巻 (R3 133タイトル 409巻) 録音図書(デジジー) 62タイトル 62巻 (R3 62タイトル 62巻) テキストデジジー図書 15タイトル 15巻 (R3 11タイトル 11巻)
	②広報紙KOBE及び市会だよりの編集発行	広報紙KOBE(点字及びデジジー版)年13回 市会だより(デジジー版)年4回
	③点字図書館だよりの発行	年6回 墨字版 273部、点字版 186部、デジジー版 137部
	④ボランティアの養成・研修	点訳ボランティア養成講座 42回 修了者 20人 音訳ボランティア養成講座 40回 修了者 7人 テキストデジジー製作ボランティア養成講座(1) 8回 修了者 11人 テキストデジジー製作ボランティア養成講座(2) 12回 修了者 10人 テキストデジジー製作ボランティア養成講座(3) 8回 修了者 10人
	⑤デジジー再生機貸出し事業	貸出し実績 9台
	⑥福祉機器相談・講習	202人(R3 200人)
	⑦点字カレンダーの製作	57部 (R3 47部)

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	-	-
②収入目標額	-	-
③その他新たなサービス	-	-

4. 利用者の満足度調査等

	4年度の状況
①満足度調査の実施内容	点字図書館利用登録者に対し、サービス内容等についてアンケートを実施。 ・時期 令和4年11月 ・利用登録者にアンケート用紙(返信用封筒を同封)を郵送 (※電話・Eメールによる回答も受付) ・郵送数 904人(不明返送5人、回答者217人、回答率24.1%) ※R3回収率22.1%
②満足度調査の結果	・図書館のサービスについて 満足64.3%、普通35.2%、不満0.5%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・点訳した図書については全てテキストデジジー図書にしてほしい。 ⇒全ては難しいが、テキストデジジー製作ボランティアとも相談して、前向きに検討していく。製作作業が非常に丁寧であり、製作に時間を要しており、1作品でも多く製作できるよう製作方法の見直しも行っていく。 ・もっと出前の機器講習が各区に増えることを望みたい。 ⇒次年度も区社会福祉協議会と開催することを検討している。各区の様子を知るためにも様々な区で開催する方向であるが、特定区での定期開催の声が増えてきた場合は、そちらも視野に入れて開催場所や回数を検討していく。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	管理運営業務については、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、蔵書図書製作数やサービス利用者数は減少しているものの、概ね適正に行われている。 また、点訳・音訳ボランティアが減少傾向であり、その確保が重要課題であることから、ボランティア養成講習等に要する経費について、予算をやりくりする中で前年度比で5倍(コロナ前のR1年度比で2倍)の予算を執行し、ボランティアの養成に努められた点は評価できる。 更に、新たに取り組みを始められた点字図書館への来館が困難な方を対象とした出前機器講習について、各区での開催機会の増を望む利用者の声が出るなど、好評であると考えられる。 読書バリアフリー法の施行により、利用対象者の範囲も広がっていることから、今後、さらに幅広いニーズに対応する取り組みを行い、更なるサービスの向上に努められたい。

令和5年度 神戸市立点字図書館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	1 設置目的 視聴覚障害者情報提供施設として、無料で点字及び録音等による情報の提供、相談指導、ボランティアの育成等を実施することにより、視覚障害者等への情報提供を行い、視覚障害者等の社会参加等福祉の増進を図る。 2 施設内容 事務室、書庫(点字図書、録音図書)、録音室、録音図書編集室、ダビングルーム、点字印刷・コンピュータ(OA)室、資料調査室、リーディングルーム、利用者コーナー、ミーティングルーム、ボランティアルーム
(2)指定管理者	社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R5市支出額(単位:円)	協定締結額 59,542,000円 決算額 59,165,750円

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		5年度の状況
	①施設の維持管理業務	総合福祉センター内専用部分の管理及び機器等の修繕
	②施設の運営業務	①蔵書(点字図書・雑誌及び録音図書・雑誌)の維持管理、貸出(郵送対応を含む) ②点字図書及び録音図書及びテキストデージー図書の製作 ③他の点字図書館等との点字図書・録音図書の相互貸借 ④全国視覚障害者情報提供施設協会ネットワークへの蔵書のデータ登録 ⑤機器の館内利用及び使用方法の指導 ⑥利用者登録 ⑦点字版、テープ版及びデージー版の「広報紙KOBE」の作成・送付 ⑧点字図書館だよりの発行 ⑨読み書き及び対面朗読サービスの実施 ⑩プライベートサービス ⑪点訳・音訳ボランティアの養成 ⑫中途失明者への点字読み書き訓練の指導
	③その他の業務	—
(2)利用状況		5年度の状況
	①施設利用状況	1 利用者数 18,326人 (R4 17,808人) 2 利用登録者数 907人 (R4 923人) 3 自館蔵書等の貸出 点字図書 294タイトル 1,115巻 (R4 307タイトル 1,127巻) テープ図書 155タイトル 867巻 (R4 206タイトル 1,174巻) デージー図書 2,424タイトル 2,424巻 (R4 2,116タイトル 2,116巻) 点字雑誌 15タイトル 529冊 (R4 14タイトル 507冊) 録音雑誌 34タイトル 4,028巻 (R4 41タイトル 3,644巻)
	②その他利用状況	1 他の図書館との相互貸借 貸出 点字 247タイトル (R4 209タイトル) 録音 1,917タイトル (R4 2,240タイトル) 借受 点字 92タイトル (R4 105タイトル) 録音 7,966タイトル (R4 7,840タイトル) 2 読み書き及び対面朗読サービス 読み書きサービス 98件 (R4 89件) 対面朗読サービス 84件 (R4 41件) 3 中途失明者の点字講習 43回 (R4 41回) 4 プライベートサービス 点訳 7件 (R4 5件) 音訳 4件 (R4 4件) テキスト化 1件 (R4 0件) テキストデージー化 2件 (R4 0件)

(3)収支状況		5年度の状況
①使用料または利用料金収入	-	
②指定管理者の収支状況	5年度決算額 収入60,340,965円 支出59,964,715円 4年度決算額 収入59,901,239円 支出59,838,874円	
(4)その他		5年度の状況
①蔵書の製作	点字図書 106タイトル 370巻 (R4 93タイトル 329巻) 録音図書(デジジー) 73タイトル 73巻 (R4 62タイトル 62巻) テキストデジジー図書 20タイトル 20巻 (R4 15タイトル 15巻)	
②広報紙KOBE及び市会だよりの編集発行	広報紙KOBE(点字及びデジジー版)年13回 市会だより(デジジー版)年4回	
③点字図書館だよりの発行	年6回 墨字版 274部、点字版 185部、デジジー版 121部	
④ボランティアの養成・研修	点訳ボランティア養成講座 20回 修了者 19人 音訳ボランティア養成講座 23回 修了者 6人	
⑤デジジー再生機貸出し事業	貸出し実績 13台	
⑥福祉機器相談・講習	151人(R4 202人)	
⑦点字カレンダーの製作	56部 (R4 57部)	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	-	-
②収入目標額	-	-
③その他新たなサービス	-	-

4. 利用者の満足度調査等

		5年度の状況
①満足度調査の実施内容	点字図書館利用登録者に対し、サービス内容等についてアンケートを実施。 ・時期 令和5年11月 ・利用登録者にアンケート用紙(返信用封筒を同封)を郵送 (※電話・Eメールによる回答も受付) ・郵送数 887人(不明返送3人、回答者178人、回答率20.1%) ※R4回収率24.1%	
②満足度調査の結果	・図書館のサービスについて 満足59.5%、普通39.2%、不満1.3%	
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・情報発信が積極的でないように感じる。 ⇒当館のホームページでも情報を提供しているが、約7割の方が「ホームページを見たことがない」と回答。図書館だよりなどで当館ホームページを紹介し、認知度を高めるとともに利用者が望む情報提供のあり方を次回のアンケート項目に加えることを検討したい。 また、今回の回答者178名のうち、約8割が60歳代以上という結果になった。長期の利用継続が見込まれる若年層の割合が相対的に小さくなるなかで、どの様に声を拾い上げていくかが課題となっていくことが予想される。盲学校、アイセンターなどの関係機関に点字図書館の周知・使用促進を目的としチラシを継続的に配布し、当事者・支援者両方へのアプローチを図るとともに、アンケートのweb回答など、気軽に回答できる手立てを考案し、若年層からの意見が届く環境を検討していきたい。	

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	管理運営業務については、新型コロナウイルス感染症流行の影響から脱却し、以前の状況にはまだ届かないが、蔵書図書製作数やサービス利用者数が回復傾向となる等、適正に行われている。 特に、令和4年度に前年度比で5倍の予算(2,304,486円)を執行し、ボランティアの養成に努められた成果が実を結び、蔵書図書製作数については、前年度比17%増を達成された点は評価できる。 アンケートで、「情報の発信」に関する意見が複数あったこと及び回答者の約8割が60歳代以上であったことから、若年層に対するPRや利用促進策について検討し、更なるサービスの向上に努められたい。

令和6年度 神戸市立点字図書館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	身体障害者福祉法第34条の規定に基づく視覚障害者情報提供施設として、主として視覚障害者への情報提供を行い、視覚障害者等の福祉の増進を図ることを目的とする。
(2)事業内容	点字刊行物、視覚障害者用の録音物その他各種情報を記録した物であって専ら視覚障害者が利用するものを製作し、又はこれらを視覚障害者の利用に供する事業等
(3)施設内容	神戸市立総合福祉センター2階の一部(施設面積675㎡) 事務室、書庫(点字図書、録音図書)、録音室、録音図書編集室、ダビングルーム、点字印刷・コンピュータ(OA)室、資料調査室、リーディングルーム、利用者コーナー、ミーティングルーム、ボランティアルーム

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会		
(2)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで (5年間)		
(3)選定方法	公募 (応募団体数: 1)		
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)	59,542,000円	(決算額) 59,293,900円

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和6年度の主な実績																																																									
(1)管理実施状況																																																										
①施設の維持管理業務	施設の維持管理については、期待した水準を十分満たしている。環境改善、業務改善について、月に1回、職員全員でプレストを行い、よいアイデアは実施につなげている。利用者の利便性を考慮して、受付カウンターに平置きしていた資料類をラックに収納し、受付カウンターを広く使えるようにした。																																																									
②施設の運営業務	点字図書館運営業務については、期待した水準を十分満たしている。特に蔵書図書の製作では前年度比38タイトルの増、図書利用数も増加傾向となっており、積極的な運営を実施している。 ●蔵書図書製作実績(点訳・音訳・TDの計、タイトル数) R5:199 R6:237 ●図書利用数(タイトル数) R4:17,174 R5:17,652 R6:18,907																																																									
③自主事業等	仕稼書に記載のない視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)に係る取組について、公共図書館との連携事業を積極的に実施し、視覚障害者等を取り巻く読書環境について広くPRするとともに、公共図書館職員向けの研修会を実施した。																																																									
(2)利用状況																																																										
①施設の利用者数	▼利用者数(算出方法:図書貸出数) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>18,907人</th> <th>達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">図書館窓口(電話対応含む)では、読書カルテにより適時おすすめ図書の案内を行っている。サビエ図書館では自身で検索する必要がある一方、窓口では丁寧に聞き取り対応していることが奏功していると推察される。</th> </tr> </table>							目標	前年度実績	実績	18,907人	達成	要因	図書館窓口(電話対応含む)では、読書カルテにより適時おすすめ図書の案内を行っている。サビエ図書館では自身で検索する必要がある一方、窓口では丁寧に聞き取り対応していることが奏功していると推察される。																																												
目標	前年度実績	実績	18,907人	達成	要因	図書館窓口(電話対応含む)では、読書カルテにより適時おすすめ図書の案内を行っている。サビエ図書館では自身で検索する必要がある一方、窓口では丁寧に聞き取り対応していることが奏功していると推察される。																																																				
②各種事業の参加者数	▼【本来業務】読み書き・対面朗読サービス(概要:手紙や新聞等個人的なニーズに対応するため朗読や代筆を実施) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>173件</th> <th>未達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">夏場の暑さで急遽予約キャンセルとなること。近年の気温上昇が少なからず影響しているものと推察される。</th> </tr> </table> ▼【本来業務】中途失明者点字講習(概要:事故や病気で中途失明になった方の希望に応じて、点字の読み書き訓練を実施) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>394人</th> <th>達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">病気や加齢による中途失明者が増加傾向であり、受講者が増えているものと推察される。</th> </tr> </table>							目標	前年度実績	実績	173件	未達成	要因	夏場の暑さで急遽予約キャンセルとなること。近年の気温上昇が少なからず影響しているものと推察される。		目標	前年度実績	実績	394人	達成	要因	病気や加齢による中途失明者が増加傾向であり、受講者が増えているものと推察される。																																				
目標	前年度実績	実績	173件	未達成	要因	夏場の暑さで急遽予約キャンセルとなること。近年の気温上昇が少なからず影響しているものと推察される。																																																				
目標	前年度実績	実績	394人	達成	要因	病気や加齢による中途失明者が増加傾向であり、受講者が増えているものと推察される。																																																				
(3)収支状況																																																										
①使用料収入	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>-</th> <th>実績</th> <th>-</th> <th>要因</th> <th colspan="3">-</th> </tr> </table>							目標	-	実績	-	要因	-																																													
目標	-	実績	-	要因	-																																																					
②収支バランス	<table border="1"> <tr> <th>収入</th> <th>59,854千円</th> <th>支出</th> <th>59,606千円</th> <th>収支の差</th> <th>248千円</th> <th>目標</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>指定管理料</td> <td>59,542千円</td> <td>人件費</td> <td>36,238千円</td> <td>郵送・通信費</td> <td>507千円</td> <td rowspan="6">収支差額がプラスのため達成と判断</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>312千円</td> <td>蔵書購入・製作費</td> <td>1,349千円</td> <td>会費</td> <td>134千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>点字広報作成費</td> <td>9,270千円</td> <td>備品購入費</td> <td>1,845千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>報酬費</td> <td>1,347千円</td> <td>リース・保守料</td> <td>855千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>修繕費</td> <td>252千円</td> <td>HP製作費</td> <td>39千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>旅費・研修費</td> <td>276千円</td> <td>一般事務費</td> <td>7,495千円</td> </tr> </table>							収入	59,854千円	支出	59,606千円	収支の差	248千円	目標	達成	内訳	指定管理料	59,542千円	人件費	36,238千円	郵送・通信費	507千円	収支差額がプラスのため達成と判断		その他	312千円	蔵書購入・製作費	1,349千円	会費	134千円				点字広報作成費	9,270千円	備品購入費	1,845千円				報酬費	1,347千円	リース・保守料	855千円				修繕費	252千円	HP製作費	39千円				旅費・研修費	276千円	一般事務費	7,495千円
収入	59,854千円	支出	59,606千円	収支の差	248千円	目標	達成																																																			
内訳	指定管理料	59,542千円	人件費	36,238千円	郵送・通信費	507千円	収支差額がプラスのため達成と判断																																																			
	その他	312千円	蔵書購入・製作費	1,349千円	会費	134千円																																																				
			点字広報作成費	9,270千円	備品購入費	1,845千円																																																				
			報酬費	1,347千円	リース・保守料	855千円																																																				
			修繕費	252千円	HP製作費	39千円																																																				
			旅費・研修費	276千円	一般事務費	7,495千円																																																				
(4)満足度調査の結果等																																																										
①調査概要	調査期間:令和6年11月1日～11月29日(計約1か月間) 調査方法:利用登録者にアンケート用紙(返信用封筒を同封)を郵送。電話・Eメール・WEBフォームによる回答も受付 回答者数:182人 設問数:15問 主な質問項目:図書館の利用状況、機器講習について、SDカードについて、図書館のサービス・行事について																																																									
②結果(満足度)	▼一般的なサービスの満足度(算出方法:「当館のサービスについての評価」という質問に「満足」と回答した方の割合) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>61%</th> <th>達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">アンケート時の意見を元にサービス向上を実現しているためと推察される。</th> </tr> </table> ▼図書館蔵書利用率(算出方法:「利用されている図書」という質問に「図書を借りたことはない」と回答した方以外の割合) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>94%</th> <th>未達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">大きな変動ではないが、(アンケート回答者において)サビエ図書館からのダウンロード利用の増加が影響したものと推察される。</th> </tr> </table> ▼その他サービス利用率(算出方法:「利用したことがあるサービス」という質問に「利用したことがない」と回答した方以外の割合) <table border="1"> <tr> <th>目標</th> <th>前年度実績</th> <th>実績</th> <th>79%</th> <th>未達成</th> <th>要因</th> <th colspan="2">大きな変動ではないが、登録者の高齢化から来る来館困難(体調、暑さ等)の増加が影響したものと推察される。</th> </tr> </table>							目標	前年度実績	実績	61%	達成	要因	アンケート時の意見を元にサービス向上を実現しているためと推察される。		目標	前年度実績	実績	94%	未達成	要因	大きな変動ではないが、(アンケート回答者において)サビエ図書館からのダウンロード利用の増加が影響したものと推察される。		目標	前年度実績	実績	79%	未達成	要因	大きな変動ではないが、登録者の高齢化から来る来館困難(体調、暑さ等)の増加が影響したものと推察される。																												
目標	前年度実績	実績	61%	達成	要因	アンケート時の意見を元にサービス向上を実現しているためと推察される。																																																				
目標	前年度実績	実績	94%	未達成	要因	大きな変動ではないが、(アンケート回答者において)サビエ図書館からのダウンロード利用の増加が影響したものと推察される。																																																				
目標	前年度実績	実績	79%	未達成	要因	大きな変動ではないが、登録者の高齢化から来る来館困難(体調、暑さ等)の増加が影響したものと推察される。																																																				
③主な意見・苦情、対応	・サビエのみで充足しており、図書館サービスを利用していないとの意見が多数あった。 ・WEBのみでは知ることが難しい付加価値の高い情報を提供する施設であることを情報発信し、サビエ利用のみとなっている利用者が図書館サービスを利用するきっかけ作りを積極的に進めていく。																																																									

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めていない事項を自主的に実施し、施設の設置目的に合致する効果がややあったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	25点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(3)収支状況	10点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	25点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25

※評価点(合計)の総合評価換算
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点

評価点の合計	108点
総合評価	AA